

福岡市にお住まいの方の、発達障がいに関する相談機関です。

2021.3  
Vol.13

# ゆうゆう

## 対象

- 福岡市内にお住まいの自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障がい、注意欠陥多動性障がい及び学習障がいなどの発達障がいをお持ちの方、またはそのご家族
- 診断はないが、ご自身またはご家族が発達障がいかもしれないとお悩みの方
- 発達障がいに関わる支援者・関係機関

※ 対象となる方の年齢は問いません  
※ ご相談に関する費用は無料です

## 開所時間

- 月曜日～金曜日 9:00～17:00
- ※ 土曜日・日曜日・祝日・年末年始（12月29日～1月3日）はお休みです

## お問い合わせ

TEL:(092)753-7411 FAX:(092)753-7412  
Mail: youyou@fc-jigyoudan.org  
https://youyou-center.com/

ゆうゆうセンター  
ホームページ

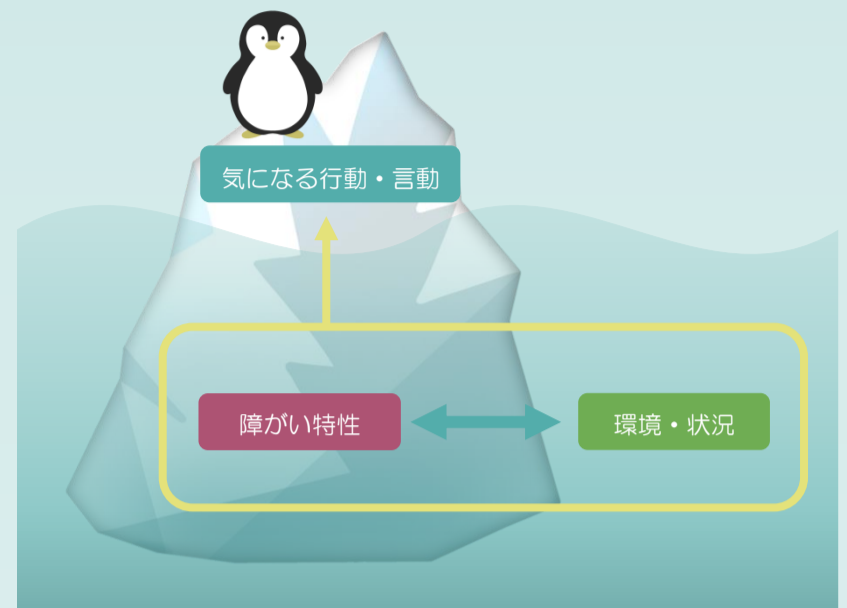


〒810-0073  
福岡市中央区舞鶴1-4-13  
福岡市舞鶴庁舎 4階

西鉄バス 「長浜一丁目バス停」 徒歩3分  
西鉄バス 「法務局前バス停」 徒歩5分  
西鉄バス 「舞鶴一丁目バス停」 徒歩5分  
地下鉄空港線「赤坂駅」3番出口 徒歩6分  
地下鉄空港線「天神駅」1番出口 徒歩9分

社会福祉法人  
福岡市社会福祉事業団

## なぜ？どうして？気になる行動 冰山モデルで考えよう！



## 冰山モデルとは

冰山モデルとは、対象とする事象を整理、分析したり対応や解決策を検討したりするための考え方の1つです。対象となる事象を氷山の一角として捉え、水面下の要因に着目して対応や工夫を考えようというものです。本誌では、事例を通して発達障がいの方の気になる行動・言動を冰山モデルで整理したり、水面下の要因である障がい特性と環境・状況の相互作用に着目したりして、対応や工夫を考えるヒントをご紹介します。

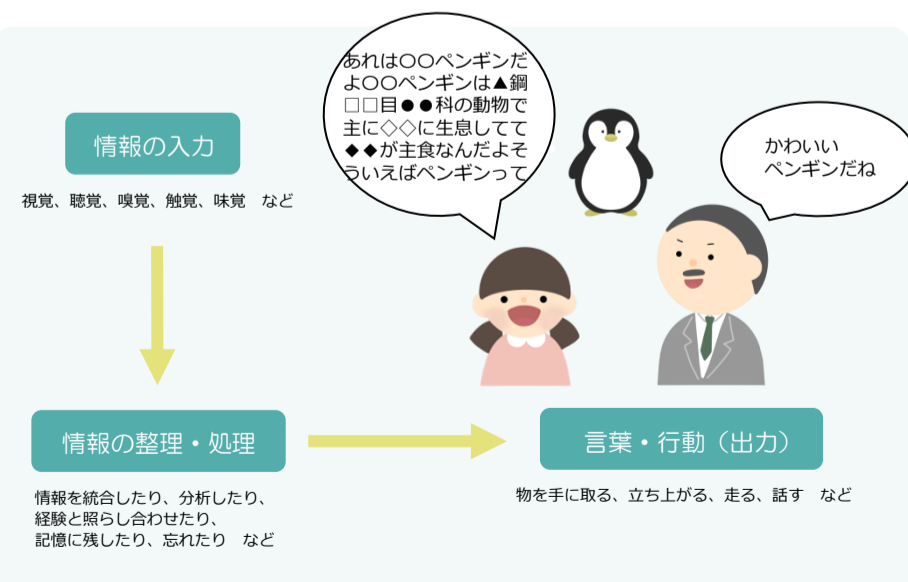
## 発達障がいとは

「発達障がい」は発達障害者支援法において「自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害、その他これに類する脳機能障害であってその症状が通常低年齢において発現するもの」（発達障害者支援法第一章第二条）と定義されています。

脳機能障がいにより発達のアンバランスさや脳の働き方の違いが生じ、周囲の人と行動や言動がずれたり、そのことで生きづらさを抱えたりすることがあります。生きづらさの要因は、発達障がいの特性と周囲の環境との相互作用によって引き起こされます。本人の特性だけでなく、周囲の環境を見直すことで状況が改善される場合も多くみられます。

## 脳の働き方について

脳の働きは情報の入力、情報の整理・処理、言動・行動というプロセスに分けられます。これらのプロセスのうち、情報の入力の仕方、入力した情報の整理・処理の仕方が周囲と違うことで、行動や言動がずれることがあります。



周囲との違い自体は悪いことでも劣っているということでもありませんが、周囲から理解されにくかったり誤解を受けたりすることがあります。

脳の働き方の違いに気付き、障がい特性に注目することで、発達障がいの方の行動や言葉の意味を理解しやすくなるがあります。

## どんな違い（特性）があるか

脳の働き方の違いは、発達障がいの特性と言い換えることができます。特性は日常生活の中での困りごとの要因になることもありますが、強みとして、良い面に働くこともあります。特性を強み・弱みの両面から捉えてみると、対応の工夫が見えてくるかもしれませんね。一般的な特性について下の表にまとめています。特性や対応の工夫を考える際の参考にしてください。

強み（例）	弱み（例）
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 見て理解することが得意</li> <li>● 見たものは記憶に残りやすい</li> <li>● 細部に注目しやすい</li> <li>● 興味関心のあることには集中しやすい</li> <li>● 他の人にならぬ発想がある</li> <li>● 具体的ではっきりしたことは理解しやすい</li> <li>● 行動力がある</li> <li>● いつもと同じこと、習慣になっていることは得意</li> <li>● 一度にひとつずつこなすのが得意</li> <li>● 感覚の特性（好きな感覚）がある</li> <li>● 見通しがあると安心</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 目に見えないものの理解が苦手</li> <li>● 言葉だけの指示だと忘れやすい</li> <li>● 物事の全体を把握したり理解したりすることが苦手</li> <li>● 周囲に合わせることは苦手</li> <li>● 曖昧なこと、抽象的なことは理解しにくい</li> <li>● 衝動的に行動しやすい</li> <li>● 急な変更や変化への対応が苦手</li> <li>● 一度に複数のことをこなすのが苦手</li> <li>● 感覚の特性（苦手な感覚）がある</li> </ul>
など	など

## 考えよう①

どう考える？

### Aちゃんの 気になる行動



いつもはここにいて  
穏やかなAちゃんですが...



突然大きな音（工事など）  
がすると  
走り回ったりします！



注意したり止めたりしますが  
余計に激しくなります

### 気になる行動・言動

突然走り回る、手が出る

#### 考えられる障がい特性

- 大きな音が苦手（過敏）
- 音が出る理由が分からない
- 言葉だけだと分かりにくい
- いつまで続くか分からない（見通しが持てない）

など

※あくまで一例です。  
特性は人によって異なります。

#### 環境・状況

- 大きな音が鳴っている
- 工事の音がする
- 指示や説明が言葉だけ

など

※あくまで一例です

相互作用

#### 考えられる対応・工夫

- 音の刺激を減らす（イヤーマフ、窓を閉める等）
- 見通しをカレンダーなど見える形（本人が理解しやすい形）で伝える
- 工事があるときは事前に予告する

### Aちゃんの気になる行動を 冰山モデルで考えると

理由が  
分からない



大きな音が  
苦手

言葉だけだと分かりにくい

冰山モデルで  
行動の背景に注目した結果



イヤーマフ

見通しを  
伝える

急に大きな音があるとびっくりしたり  
不安になったりすることが  
原因だと分かりました



理由が分かったので対策を取ると  
Aちゃんは工事中でも  
安心して過ごすことができるよう  
になりました

行動そのものに注目すると対応を考えにくいですね。  
一方、行動の要因に着目すると、表面上分かりにくい本人の困り事や  
つらさなどが行動の背景に潜んでいることが分かりますね。



## 考えよう②

どう考える？

### Bさんの 気になる行動



〇〇の件  
△△でよろしく  
これも  
お願いね  
はい



真面目で頑張り屋のBさんですが  
いつも仕事が締切に間に合わず  
上司に叱られています

### 気になる行動・言動

いつも締切に間に合わない

#### 気になる障がい特性

- 優先順位が立てられない
- 様々な人に別々に言われると（整理できず）混乱する
- 周囲が騒がしいと集中しづらい
- 人の動きや物音に敏感で無視できない

など

※あくまで一例です  
特性は人によって異なります

#### 環境・状況

- 様々な人から別々に仕事を指示される
- デスクが入り口付近にあり人の往来が激しく、騒がしい

など

※あくまで一例です

相互作用

#### 考えられる対応・工夫

- 指示を出す人を一人にする
- 締切や仕事の内容を具体的に指示する
- 優先順位の立て方をサポートする
- デスクの位置を刺激の少ない場所へ移動するなど、刺激を避ける対応について本人と話し合う

### Bさんの気になる行動を 冰山モデルで考えると



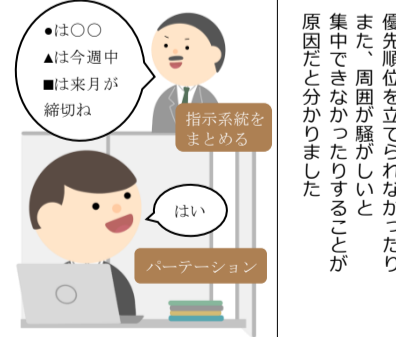
別々に言われると  
混乱する

●の件  
▲は...  
■もお願い

冰山モデルで状況を整理した結果

周囲が騒がしい

優先順位が  
立てられない



●は〇〇  
▲は今週中  
■は来月が  
締切ね

指示システムを  
まとめる

はい

パーテーション

指示を出す人が複数いると混乱したり  
優先順位を立てられなかったり  
また、周囲が騒がしいと  
集中できなかったりすることが  
原因だと分かりました

落ち着いて  
仕事に取り組みやすくなりました

理由が分かったので対策を取ると  
Bさんは締切に間に合うことが  
増えました

会社を休みがちになってしまいました

どうしたらいいかわからず  
疲弊してしまい...

